

計画事業番号	00032	事務事業名	エキノコックス症予防対策事業	担当部署	保健福祉部健康推進課	電話	1215
--------	-------	-------	----------------	------	------------	----	------

【基本情報】

事務区分	■自治事務 □法定受託事務		根拠法令等	北海道エキノコックス症対策実施要領			
事務事業開始年度	昭和63年度		個別計画等				
〃 終了予定年度							
ソフト・ハード区分	ソフト事業	会計区分	一般会計	補助単独区分	単独	新規継続区分	継続

【事業概要】

1 総合計画体系	(第 1 章)	支えあい健やかに暮らせるまち
	(第 1 節)	健康づくり・地域医療の充実
	(施策 2)	保健予防の推進
2 対象	小学校3年生以上の市民	
3 目的と内容	<目的> エキノコックス症の早期発見、早期治療を図るため。 <概要> 小学校3年生以上の者を対象に、血液検査を無料で行う。	
4 実施内容(手段)	28年度まで	エキノコックス症の早期発見、早期治療を図るため、小学校3年生以上を対象として検診を行っている。検査は血液検査で行う。健診機関は対がん協会と結核予防会。
	29年度	昨年と同様、エキノコックス症の早期発見、早期治療を図るため、小学校3年生以上を対象として検診を行っている。検査は血液検査で行う。健診機関は対がん協会と結核予防会。

【事業の計画・実績】

平成28年度		平成29年度	平成30年度	平成31年度
計画	実績	計画	計画	計画
エキノコックス症検診の実施	受診者数 対がん協会 125人 結核予防会 34人	エキノコックス症検診の実施	エキノコックス症検診の実施	エキノコックス症検診の実施

【評価結果・評価コメント】

総合判定		平成30年度に向けた具体的な方向性	評価区分
前年度2次評価	現状継続	現状継続とする。	
1次評価	現状継続	エキノコックス症は早期発見・早期治療が重要なことから、市民への啓発等を十分に行い検診を継続する。	
2次評価	現状継続	現状継続とする。	

【事業費の推移】

(単位:千円)

			平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度	
決算額、当初予算額又は推進計画額			209		239		271		271	
事業額	直接事業費	国支出金	0		0		0		0	
		道支出金	0		0		0		0	
		地方債	0		0		0		0	
		その他特財	0		0		0		0	
		一般財源	209		239		271		271	
	① 合計	209		239		271		271		
人件費 (左側:一般、 右側:再任用)	② 人数(年間)	0.01	0.00	0.01	0.00	0.01	0.00	0.01	0.00	
	③ 1人当り年間平均人件費	8,400	4,500	8,400	4,500	8,400	4,500	8,400	4,500	
	④ =②×③	84	0	84	0	84	0	84	0	
総事業費①+④			293		323		355		355	

【評価指標】

指標名		単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
活動指標	① 受診者	人	170	170	170	170
		目標値				
		実績値	159			
	②	目標値				
	実績値					
③	目標値					
	実績値					
④	目標値					
	実績値					
成果指標	①	目標値				
	【指標の定義(算式等)】	実績値				
	②	目標値				
【指標の定義(算式等)】	実績値					
③	目標値					
【指標の定義(算式等)】	実績値					

【評価項目】

チェック項目	評点	コメント
妥当性 ・税金を使って行うこと(補助すること)が妥当ですか？ ・上位の施策への貢献度は大きいですか？ ・特定の団体の利益に偏っていませんか？ 【評点欄】3妥当、2どちらかという妥当、1妥当でない 【コメント欄】理由を記入	3	エキノコックス症は、北海道特有の感染症のため市町村が中心となり地域住民の健康保持のため検診及び衛生啓発の普及を行うことが必要である。
達成度 ・計画どおりに成果があがっていますか？ 【評点欄】3あがっている、2どちらかといえばあがっている、1あがっていない 【コメント欄】理由を記入	3	計画どおりに成果は上がっている。
成果向上 ・成果が現状よりも向上する可能性がありますか？ 【評点欄】3余地なし、2余地あり、1余地大きい 【コメント欄】成果を向上させるための方策、代替策を記入	3	複数の検診機関を設けており、成果は十分に上がっている。
経済性 ・現在の成果を落とさずにコスト(予算・所要時間等)を削減するための方法はありませんか？ 【評点欄】3余地なし、2余地あり、1余地大きい 【コメント欄】コストを削減するための方策、補助金の減額・削減について具体的に検討し、検討内容を具体的に記入	2	広報等で検診を周知することにより引き続き受診勧奨を強化していく。

【法律で実施が義務付けられている事務事業か】	<input type="checkbox"/> 法律の義務付けあり	<input checked="" type="checkbox"/> 法律の義務付けなし
------------------------	------------------------------------	---

【民間活力の活用性評価】 (事業担当部局が評価)	<input type="checkbox"/> 民間等での実施または市民等との協働が可能である。	<input checked="" type="checkbox"/> 民間等での実施または市民等との協働の可能性はない。
-----------------------------	---	---